

事例 ● 取組の名称 毎日の活動が支え合いに 分類： 居場所 アウトリーチ 相談 学習支援 見守り 住民主体

運営団体基本情報

● 運営団体名	宮中ゲートボールの会	● 代表者名	及原 千万喜	● 所在地	栗原市志波姫堀口上野51-8
● スタッフ構成	会員11名	● 運営財源	自主財源		
● 連絡先	TEL:0228-22-2713 Mail:yo-chiba@kurihara-sfk.or.jp	● ホームページ (参考情報)			

新型コロナウイルス感染症拡大前の事業概要

● 対象者層	宮中地区住民 (65歳以上高齢者)	● 活動頻度	毎日 (雨、雪以外)	● 活動場所	宮中ふれあいセンター
● 活動の形態	ゲートボール、休憩時の情報交換	● 平均利用者数	11名	● 利用料金	年会費2千円

【活動の特徴と新型コロナウイルス感染症対策】

具体的な活動	●新型コロナウイルス感染症拡大前	毎日、午前9時から12時まで試合形式での活動。県内、地区内の試合に出場するためと自分達の健康維持のために活動している。休憩時間は、お互いに情報交換をし、交流を深めている。	● 活動経費	年数回開催される県内、地区内の大会出場時の昼食、お茶代。
	●新型コロナウイルス感染症拡大後の取組と工夫	日々の活動が健康維持や楽しみになっているのと屋外の活動でもあることから続けている。日頃から体調管理し、あまり密にならないように声がけしながら続けている。	● その他、特記事項	★市町村基本情報 宮城県栗原市 県北部に位置し、市の面積が県内最大の約800平方km。自然と四季のうつろいが大変美しい高原都市。 人口 66,565人 高齢化率39.7% (2020.4末)
	●取組の効果	それぞれが体調管理し、休まず続けられたことが、健康維持やお互いの安否確認にもつながっている。		